

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（生活）

No.1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（大日本図書） 発行者番号（4）	発行者（学校図書） 発行者番号（11）
1 内容	<p>①児童が身近な人々、社会及び自然と関わる姿が、写真や挿絵で多様に示されており、自分の生活との関わりで捉えやすく、また、大きな意欲付けにもなる。</p> <p>②生活科で身に付けるべき資質や能力を発揮している姿が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで例示されている。</p> <p>③個別最適な学びと協働的な学びの実現ができるように、多様な学習活動例や表現例が示されたり、興味・関心に応じて活用できる資料がデジタルコンテンツとして掲載されたりしている。また、下巻には体験活動と表現活動を往還させ、さらに深い学びを実現する学習活動が例示されており授業改善の手掛かりとなる。</p>	<p>①子供目線に立ったダイナミックで躍動感のある活動写真やイラストが用いられており、児童が興味・関心を高め意欲的に活動に取り組めるように工夫されている。</p> <p>②「せいかつことば」コーナーや「きらきらことば」コーナー、「がくしゅうどうぐばこ」で様々な言葉やその使い方を示し、児童の語彙力の向上とともに、豊かな表現力の育成、表現活動の充実が図れるように工夫されている。</p> <p>③教師が教える場面と児童自身が考える場面のバランスに配慮し、教師の支援を適切に盛り込んだり、活動場面を具体的に示したりしており、深い学びへ導くためのヒントが分かりやすく示されている。</p>	<p>①自己決定の場面が設定されており、主体的に活動する中で、自分や自身の生活について考えられるようにされている。</p> <p>②上下巻を通して、4人のキャラクターが様々な経験の中で対話をしながら成長していく場面が挿絵やせりふで表現され、活動のヒントとなる。また、単元全体を通して、児童の身近な人々、社会、自然と関わる場面が数多く設定されている。</p> <p>③全単元を通して振り返りの場面が充実しており、児童が自分自身の成長を自覚して自信をもち、深い学びにつながるように工夫されている。</p>
2 構成・分量	<p>①単元ごとにページの色分けがされ、各ページの左上に小単元名が書かれているため単元全体の構成の見通しについて配慮されている。</p> <p>②児童の発達段階や特性を踏まえ、関わる対象や育成する資質・能力などが、上巻と下巻で段階的に高まるように単元が構成されている。</p> <p>③上巻では教室から学校全体、自分の通学路へ、下巻では学校周辺から地域へと、児童の発達段階に応じて無理なく活動範囲が広がっていくように学習活動が構成されている。</p> <p>④対象と関わる時間を十分に確保できるよう、低学年児童の発達に配慮した取り組みやすい活動が、適切に適量で取り上げられている。</p>	<p>①単元ごとに小見出しの色分けがされ、単元全体の構成の見通しについて配慮されている。</p> <p>②発展的な内容まで分量が十分に割り当てられている。どの単元でも、「発表・伝える」で終わらず、自分との関わりで捉えられるよう構成されている。</p> <p>③季節に沿った大単元構成で、児童の意識に沿って無理なく季節と活動を結び付けることができる。</p> <p>④1つの活動の例示を見開きで構成し、小単元名、本文、吹き出しの活用、写真やイラスト及びキャラクターなどを適量でバランスよく配置することによって、活動のポイントが低学年にも的確に把握できるように配慮されている。</p>	<p>①単元全体を見通して指導できるよう、各ページの左にも小単元名が記載されており、配慮されている。</p> <p>②構成・分量は無駄がなく、豊富である。課題をもつ、計画を立てる、活動する、発表するという流れで統一され、「ものしりノート」として、知識・技能を高める資料が豊富である。</p> <p>③各単元の最後に「もっと〇〇」という発展的な内容が書かれ、系統性をもつよう配慮されている。</p> <p>④「探検」「栽培」「飼育」「遊び」「成長」と活動ごとの大単元構成になっており、児童が学習を振り返りやすいように工夫されている。</p>
3 表記・表現	<p>①小単元名や本文、やくそく、マーク、記録カードなどは、原則として、定位置に配置されている。</p> <p>②点やはらいの形状を保ちながら、強さの強弱を抑えた、教科書専用のユニバーサルデザインフォントを使用している。また、強い色彩の使用を避け、紙面は落ち着いた淡い色調で統一されている。</p> <p>③児童向けのすべての文章が、文節で分かち書きされている。</p>	<p>①ユニバーサルデザインフォントや、色覚の特性によらず情報が読み取れるようカラーユニバーサルデザインを使用している。</p> <p>②児童向けの文章が、分かち書きや、読みやすい位置で文節改行されている。</p> <p>③漢字やカタカナは学習進度に配慮して使用され、また、ルビがふられている。</p>	<p>①本文の見出しやカードの位置を揃えている。</p> <p>②ユニバーサルデザインに配慮し、過度な色使いをせず、記号やマーク表示をできるだけ抑えている。</p> <p>③漢字やカタカナは学習進度を配慮して使用され、また、ルビがふられている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①イラストや写真が多く、文字が大きく掲載されている。</p> <p>②上下巻の巻末に生活科で身に付けるべき習慣や技能について学ぶことができる「かつどうべんりちょう」のページがあり、日常生活から中学年以降の学習にも活用できる「学び方」を掲載している。</p> <p>③二次元コードが所々に掲載されており、児童や教員が簡単に活用することができる。</p>	<p>①上下巻末に資料「がくしゅうどうぐばこ」のページがあり、生活科で身に付けるべき知識や能力を学ぶことができると同時に、図鑑としても活用でき、本を使って調べるといった学びの基礎を養える。</p> <p>②「きもちマーク」の欄で、自分なりのめあてや振り返りを書き込むことができる。</p> <p>③二次元コードが所々に掲載されており、児童や教員が簡単に活用することができる。</p>	<p>①上下巻末に「学び方図かん」が掲載されていて、他教科でも活用できる学び方の基礎について学習することができる。</p> <p>②児童の主体的な学びを支援する「ものしりノート」等、図鑑のページが充実しており、児童が自らすすんで活動の場を広げていけるよう配慮されている。また、観察カードの見本に、写真を用いているものが数点ある。</p> <p>③二次元コードが所々に掲載されており、児童や教員が簡単に活用することができる。</p>

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（生活）

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（信州教育出版社） 発行者番号（26）	発行者（光村図書） 発行者番号（38）
1 内容	<p>①児童が身近な人々、社会及び自然と関わる姿が、写真や挿絵で多様に示されている。</p> <p>②生活科の教科目標から育成すべき力を6つ抽出（きづく、じぶんでできる、かんがえる、など）し、それぞれの学習活動で、特に発揮すると効果的な「力」が示されており、学習のめあてを明確にもって活動を進めることができるよう工夫されている。</p> <p>③単元末には、「なにをかんだかな」ページを設け、児童が学習での気づきを記録したり、「ぐんぐんはしご」で自己評価したりし、自分の成長を自覚して深い学びにつながるような工夫がされている。またそこには、児童の気づきや教師の支援が写真や吹き出しで例示され、指導の助けになっている。</p>		<p>①動物や植物などの写真を大きく掲載しており、活動対象に興味をわくようになっている。また、単元の初めに友達との対話場面をイラストや写真で数多く掲載することで、生活経験から単元の活動を具体的に想起できるように配慮されている。</p> <p>②学習活動が分かりやすくなっており、学習の流れを児童自身が見通すことができるように工夫されている。また、別冊資料がついており、児童一人一人が学びや授業に合わせて活用でき、授業の手助けとなっている。</p> <p>③イラストの児童の発言例には深い学びの姿が示されており、指導の手掛かりとなる。</p>
2 構成・分量	<p>①単元の最初に「わくわくスイッチ」が記載されており、既習事項の確かめができることで単元を自分との関わりで考えられる。</p> <p>②学校から地域への活動の広がりや、諸感覚を使った自然体験から自然のもつ力について考える思考の深まりなど、上巻から下巻へと発達段階に応じて児童の行動範囲や気づき、思考が広がっていくように構成されている。</p> <p>③左上サイコロのマークで「きづく」「かんがえる」「つたえる」など児童の活動が明確である。「ちょうせんする」「じしんをもつ」など発展的な内容も系統的に記載されている。</p> <p>④対象と関わる時間を十分に確保できるよう活動が精選されている。</p>		<p>①小単元における活動の見通しがもてるよう、見開きの構成になっている。</p> <p>②上下巻とも季節に沿って単元が構成されているが、活動のまとまりごとに構成しているため、指導の順序を柔軟に入れ替えることができる。</p> <p>③振り返りの場を全ての小単元に位置付け、活動中の出来事を「感想」と「思考・態度」から確かめ、表現できるように工夫されている。</p> <p>④対象と関わる時間を十分に確保できるよう活動が精選されている。</p>
3 表記・表現	<p>①色覚等の特性を踏まえ、判読しやすい配色やレイアウト（カラーユニバーサルデザイン）がなされている。</p> <p>②漢字やカタカナは学習進度を配慮して使用され、また、ルビがふられている。</p> <p>③判読しやすいユニバーサルフォントを使用している。</p>		<p>①低学年児童の発達段階を考慮した平易な表記や表現で、文字も読みやすい大きさや書体で使用されている。配色も色覚の多様性に配慮してカラーユニバーサルデザインを使用している。</p> <p>②イラストはいずれも低学年児童が親しみやすいものを採用し、児童の活動意欲を引き出せるよう、配慮・工夫されている。</p> <p>③判読しやすいユニバーサルフォントを使用している。</p>
4 使用上の便宜	<p>①幼児期から親しんでいる絵本のキャラクターが登場し、児童の興味・関心を刺激し、学習意欲を高めるとともに、自分を映す対象が教科書にあることで、比較や関連付けがしやすくなり思考力の深まりを助けるような工夫がなされている。</p> <p>②上下巻末の「学びのポケット」は、他教科の知識・技能が整理されており、適宜、生活科で学んだことを他教科等で、他教科で学んだことを生活科で相互に発揮できるように工夫されている。</p> <p>③二次元コードが所々に掲載されており、児童や教員が簡単に活用することができる。</p>		<p>①幼児期から親しんでいる絵本のキャラクターが登場し、児童の興味・関心を刺激し、学習意欲を高めるとともに、多様性や個別最適な学びが推奨されている。</p> <p>②巻末に貼り替え可能なシールが付属され、各単元の活動の振り返りと、1年間のまとめの学習に活用することができるようになっている。また、「ひろがるせいかつじてん」のページがあり、生活科で身に付けるべき習慣や技能を学び、他教科に生かすことができる。</p> <p>③二次元コードが所々に掲載されており、児童や教員が簡単に活用することができる。</p>

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（生活）

No.3

調査研究の観点	所 見		
	発行者（新興出版社啓林館） 発行者番号（61）	発行者（ ） 発行者番号（ ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内 容	<p>①1つの単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で、児童の興味や関心、意欲を高め、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。</p> <p>②見つける・比べる・たとえる・ためす・見通す・工夫するといった多様な学習活動や、1対1やグループなどの活動形態、身振り手振りや実物を示すなどの多様な表現方法が、挿絵や写真で示されており、豊かな表現力の育成、表現活動の充実が図れるように工夫されている。</p> <p>③言葉掛け、板書、ICTの活用方法など、教師の支援の例が挿絵やせりふで具体的に多数掲載されており、児童を深い学びに導くための授業モデルが例示されている。</p>		
2 構成・分量	<p>①ページ左上に「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」のタブがあり、単元構成及び単元内の学習段階が分かりやすく、見通しがもてる。</p> <p>②「ぐんぐん」で発展的な内容も取り扱い、基本的な内容から発展的な内容へと系統性がある。</p> <p>③児童の思いや願いが次の活動につながるように、紙面右下に「めぐり言葉」が設定されている。これにより、活動が単発的にならず、気付きの繰り返しで学習が深まっていく構成になっている。</p> <p>④対象と関わる時間を十分に確保できるよう活動が精選されている。</p>		
3 表記・表現	<p>①小単元名、本文、カード例などの要素の位置は、原則として固定されている。</p> <p>②発達段階を考慮し、漢字、カタカナにはルビがふられている。また、文章は短く、区切られている。</p> <p>③本文などの基本的な文字は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>		
4 使用上の便宜	<p>①イラストや写真が多く、文字が大きく掲載されている。</p> <p>②上下巻末の「がくしゅうずかん」では、調べ方、記録の仕方、話し合いの工夫、まとめ方などが一連で示されていたり、道具の使い方、安全上の注意などが示されたりして、生活科で身に付けるべき知識や技能の学び方が身に付けられるように工夫されている。</p> <p>③二次元コンテンツが充実しており、児童の「もっと知りたい」意欲を高める工夫がされている。</p>		